

重点目標一覧表（中間報告調書）

担当部局名

真田地域自治センター

【令和2年度重点目標】

重点目標		東日本台風被災箇所への復旧の推進	
具体的な重点取組項目（箇条書き）		期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
1	①公共土木施設災害復旧事業の推進 (1)公共土木施設災害復旧工事の早期発注 (2)公共土木施設災害復旧工事の早期完成	① (1)補助2件、単独4件の発注(8月末) ・補助(加賀森つばくろ線、菅の沢線) ・単独(大日向中央線 他4件) (2)補助2件(全体5件)、単独14件の完成(3月末) ・補助(役場南線、大畑横沢線) ・単独(鳴尾沢 他14件)	① (1) ・補助 2件の工事発注、8月工事契約完了、現在工事着手中 ・単独 4件発注済 (2) ・補助 2件工事完了 ・単独 12件工事完了
	②農地農業用施設災害復旧事業の推進 (1)農地農業用施設災害復旧工事の早期発注 (2)農地農業用施設災害復旧工事の早期完成	② (1)補助12件の発注(12月末) ・頭首工(角間地区 他6件) ・用水路(戸沢地区 他2件) ・農道(渋沢地区 他4件) (2)補助7件の完成(3月末) ・頭首工(角間地区 他3件) ・用水路(戸沢地区 他2件) ・農道(角間地区 他2件)	② (1) ・頭首工:設計書作成中(角間地区 他6件) ・用水路:設計書作成中(戸沢地区 他2件) ・農道:10月に2件入札(高屋地区 2件)、1件発注準備中(渋沢地区)、1件設計書作成中(角間地区) (2) ・頭首工:設計書作成中(角間地区 他3件) ・用水路:設計書作成中(戸沢地区 他2件) ・農道:設計書作成中(角間地区 他2件)
	③被災箇所復旧状況の周知 (1)復旧工事進捗情報の住民への提供	③ (1)自治センターだよりによる広報(6回)	③ (1)自治センターだよりによる広報(5月、7月、9月号)
重点目標		市民と行政が共にすすめる「参加と協働のまちづくり」	
具体的な重点取組項目（箇条書き）		期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
2	①地域づくり委員会との協働による「安心・安全なまちづくり」の推進 (1)まちづくりに活用できる情報の提供 (2)地域課題の掘り起しと関係機関との情報共有 (3)協働推進員及び地域づくり委員会地域担当職員との情報共有と連携	① (1)委員会等を活用した情報提供(8月末) (2)委員会、住民自治組織等への課題の情報提供(1月末) (3)6月開催予定の打合せ会議での情報共有(6月末)	①新型コロナウイルス感染拡大防止のため地域づくり委員会に替わり、「広域的地域づくり委員会」を開催した。(長6月29日、傍陽6月30日、本原7月1日) (1)身近な課題等に対応可能な補助事業など、支援策の情報提供に努めた。(7月:自治会回覧36自治会、回覧数507) (2)委員会でまとめられた地域課題や要望等について、庁内各課に対応を依頼するとともに情報の共有を図った。(8月) (3)真田地域のまちづくりに係る情報共有を図るため、地域課題や要望等について協働推進委員及び地域担当職員への情報共有を図った。(8月)
	②「協働のまちづくり」の気運醸成に向けた取組 (1)地域づくり活動の積極的な周知	② (1)自治センターだよりによる広報(5回)や36自治会への情報提供(2回)	② (1)自治センターだより(7月号)、広報うえだ(9月号)において地域活性化策や自主防災活動など地域課題の解決に向けた取組事例を紹介し、「協働のまちづくり」への気運の醸成を図った。
	③住民自治組織の「地域まちづくり計画」推進への支援 (1)関係部局との連携による支援 (2)住民自治組織が取組む各種事業への支援	③ (1)円滑な活動実施に向けた情報共有と連携(3月末) (2)自治センターだよりによる、住民への活動状況等の周知(2回)	③ (1)自治会などが行う防災活動に対し、住民自治組織が指導や支援を行うための調整及び支援を行った。(4月~7月) (2)自治センターだより(7月号)への記事掲載により活動状況の周知を図った。

重点目標	「菅平高原」ブランドを活かした更なる魅力の発信		
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
3	<p>①2027年国民体育大会開催に向けたサニアパーク菅平の施設整備と情報発信 (1) 老朽化した防球ネット改修工事 (2) ラグビーワールドカップ2019日本大会を契機とした更なる「ラグビー合宿の聖地 菅平高原」の魅力発信</p> <p>②菅平高原アリーナの利用促進 (1) 「菅平高原スポーツランド及び菅平高原アリーナ運営委員会」による利用促進の研究 (2) 観光協会、旅館組合等と連携した誘客活動</p> <p>③菅平湿原の施設整備 (1) 老朽化した木橋の改修工事</p> <p>④根子岳ササ刈りイベントの開催 (1) 有識者監修による植生回復のためのササ刈りイベントの実施</p> <p>⑤菅平高原自然館のあり方の検討 (1) 地元菅平高原関係団体との協議</p>	<p>① (1) Cグラウンドの防球ネット張替え(12月末) (2) ホームページやFacebookを活用した情報発信(通年)</p> <p>② (1) 委員会による利用促進手法の研究(会議の開催:随時) (2) 目標利用合宿チーム数:10チーム、 目標利用者数:19,000人(R1実績:17,000人)(3月末)</p> <p>③ (1) 木橋の改修工事(L=9m、W=2m)(12月末)</p> <p>④ (1) 参加者:30人(11月)</p> <p>⑤ (1) 方向性の決定(3月末)</p>	<p>① (1) 防球ネット改修工事の設計が完了。 (2) 菅平高原旅館組合によるクラウドファンディングへの撮影協力等により、全国のラグーマンとの絆がさらに深まる機会となるよう努めるとともに、全国規模のアーチェリー大会などの新たな競技大会の開催を支援した。</p> <p>② (1) 運営委員会を開催し、現状と課題について情報共有を図り、首都圏の大学等への誘客活動など、今後の利用促進に向けた取り組みについて検討した。(7月14日) (2) 感染症の状況に留意しながら、新規補助事業である合宿等誘致促進事業を展開し誘客を図った。(9月末利用者:5,000人)</p> <p>③ (1) 9月3日に工事請負者と契約した。(11月末竣工予定)</p> <p>④ (1) 11月8日の「根子岳ササ刈りイベント」の開催に向け、9月16日からボランティア参加の募集を開始した。</p> <p>⑤ (1) 自然館の展示物に関する所蔵品リストの整備を9月までに完了した。また、環境省上信越高原国立公園管理事務所と自然館の方向性についての情報交換を実施した。</p>
重点目標	真田地域福祉関係施設における今後のあり方検討		
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
4	<p>①上田市真田総合福祉センターのあり方検討 (1) 現状把握実施後に庁内関係課と内部協議を実施 (2) あり方検討会を組織し、外部からの意見聴取を実施</p> <p>②上田市真田地域活動支援センターの施設形態の移行 (1) 障がい者施設から福祉施設とする手続きの実施 (2) センターの利用方法、運営体制等の協議</p>	<p>① (1) 現状課題等の関係課協議(2回:3月末) (2) あり方検討会(3回:3月末)</p> <p>② (1) 条例改廃の提案(6月末) (2) 利用方法、管理方法等の利用者や関係団体との協議(3回:3月末)</p>	<p>① (1) 関係課で真田総合福祉センターあり方検討会の今後の進め方について協議(8月) (2) 地域の意見を反映することのできる委員選考の準備を進めた。</p> <p>② (1) 令和2年6月議会で条例等の廃止及び一部改正を議決(令和3年4月1日施行) (2) 現利用者との協議を実施(5月)</p>

※ 評価基準 [◎: 目標を上回る進捗] [○: 目標どおり進捗] [△: 未進捗の部分あり] [×: 全て目標未進捗]